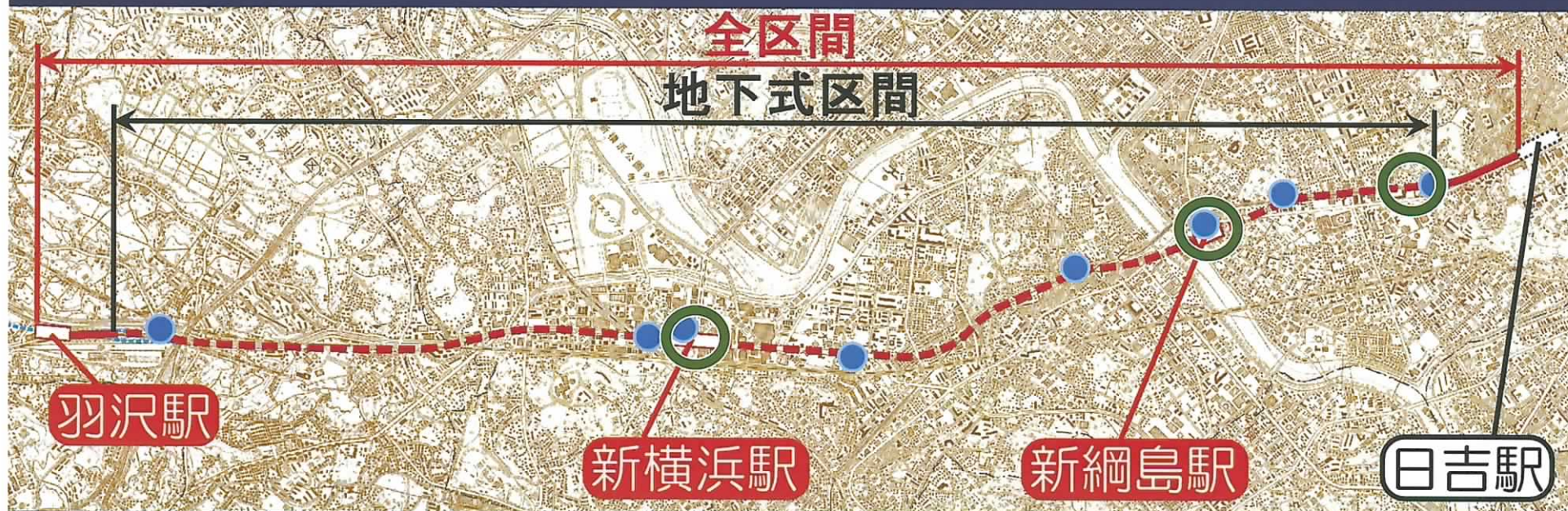


調査・予測位置図

—地下水の水位・地盤—



調査地点（地下水の水位）：●

予測対象（地下水の水位、地盤）：○

地盤の現況

- ・ 計画路線周辺に、比較的軟らかい地盤（N値＝「5」以下の地盤）が厚く確認できる地点が存在。
（特に新横浜駅及び新綱島駅周辺）

※N値とは・・・

地盤の強度を表す指標の一つで、この数値が大きいほど固く締まった地盤と判断できます。

地下水の水位及び地盤（予測結果）

※ 駅部・開削区間

◆地下水の水位（モデル解析上の低下量）

- ・新横浜駅付近：2.13m
- ・新綱島駅付近：1.06m
- ・日吉側開削区域：0.74m

◆地盤（モデル解析上の沈下量）

- ・新横浜駅付近：3.0cm
- ・新綱島駅付近：3.6cm
- ・日吉側開削区域：1.5cm

ただし、地下水の周辺地域からの供給、構造物に対する回り込みなどを考慮すると、変動量は上記より小さくなるものと考えます。

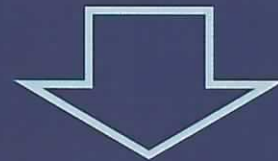
地下水の水位及び地盤（配慮事項）

- 地域の状況に応じた適切な設計・工事計画の採用
- 地下水の排水を伴わない密閉型シールド工法の採用
（円形トンネルの掘削）
- 止水性の高い土留壁の採用
- 必要に応じて対策工法を実施
（地盤改良、水みちの確保など）
- 地下水の水位、地盤の変状の監視による状況把握、
適切な施工管理の実施

地下水の水位及び地盤（計測・監視）

計測計画

- ・ 施設・建物の監視方法
- ・ 地下水の水位・地盤の監視方法
- ・ 土留壁の変位、地盤変動の管理基準値
- ・ 周辺地盤への影響の判定の考え方
- ・ 異常値発生時の対応



周辺の施設・建物に影響を与えないよう
適切な施工管理を実施